

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	05-04-01	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	事務管理費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	山下		
		担当者名	上村	内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-02-01	事務管理費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 4年度 <input type="radio"/> 3年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	平成 28（2016）年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	ゆいの森あらかわの適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、魅力的かつ快適で安全・安心なサービスの充実を図る。						
対象者等	ゆいの森あらかわ利用者						
内容	【開 設】平成29年3月26日 【所 在 地】荒川区荒川2-50-1 【土地面積】4,111㎡ 【述床面積】10,944㎡ 【構 造】鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 【開館時間】午前9時～午後8時30分 【主な事業】中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろば等						
経過	平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 （仮称）あらかわ二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着工 平成27年 2月 愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、プロポーザルによりカフェ運営事業者決定 平成28年 1月 ロゴマークの決定 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年 1月 竣工 3月26日 開館 平成30年 3月 テーブル・座席の増設、館内サインの追加製作 令和2年 4月 新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館（4月8日～5月29日）						
必要性	ゆいの森あらかわの運営により、区内全体の知とコミュニティの醸成を図るため、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と体験を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれる施設の必要性は高い。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） 夜間総合受付・設備維持管理・清掃・警備・植栽管理業務等を委託						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		元年度	2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)	
	① 入館者数	697,418	355,860	510,961	580,000	732,000	ゆいの森あらかわ入館者数
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
4年度	5年度						
推進	推進	安全・安心で快適な施設運営と設備の適正な維持管理を図っていく。					

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		-	181,750	178,057	178,467	180,102	174,126	177,430
決算額（4年度は見込み）		-	147,982	162,882	163,517	157,790	163,426	177,430
実績の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事項名（4年度は見込み）								
修繕件数		0	3	14	20	15	21	20
予算・決算の内訳		令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
旅費	近接地内外旅費	22	旅費	近接地内外旅費	17	旅費	近接地内外旅費	277
需用費	光熱水費・一般需用費・家屋等修繕費	37,507	需用費	光熱水費・一般需用費・家屋等修繕費	44,122	需用費	光熱水費・一般需用費・家屋等修繕費	50,266
役務費	電話・郵便・手数料等	7,960	役務費	電話・郵便・手数料等	8,667	役務費	電話・通信・郵便・手数料等	8,825
委託料	施設管理に係る業務委託等	108,899	委託料	施設管理に係る業務委託等	109,793	委託料	施設管理に係る業務委託等	117,176
使用料	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	545	使用料	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	583	使用料	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	634
その他	報償費・備品費	2,857	その他	報償費・備品費	244	その他	報償費・備品費	252

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
行政費用	給与関係費	15,224	19,846	4,622	地方税等	0	0	0	
	物件費	153,771	159,371	5,600	国庫支出金	964	1,203	239	
	維持補修費	3,999	4,055	56	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	20	0	▲ 20	使用料及び手数料	2,865	4,536	1,671	
	減価償却費	256,184	255,443	▲ 741	その他	1,527	2,036	509	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,356	7,775	2,419	
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,493	1,086	▲ 2,407	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 427,335	▲ 432,026	▲ 4,691	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 9,061	▲ 8,499	562	
	行政費用合計(b)	432,691	439,801	7,110	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 436,396	▲ 440,525	▲ 4,129	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 436,396	▲ 440,525	▲ 4,129		

備考 行政費用では、臨時休館を行っていた前年度に比べ開館日数が増えたため、物件費（光熱水費）が増加した。行政収入では、感染症防止対策事業として文化庁の補助金を活用し、コロナ対策を実施した。また、新型コロナウイルスの規制が緩和されたことで、駐車場、カフェ等の使用料収入が回復しつつある。

問題点・課題
・新型コロナウイルス感染防止策に対応した施設運営を行う必要がある。
・定期的な保守点検や必要な修繕により、施設の維持管理を行うとともに、予防保全の観点から計画的な修繕を実施することにより、施設の長寿命化を図る必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き利用者が安全・安心で快適に施設を利用できるように、感染防止対策を行う。	滞在時間の制限や、定期的な消毒等、利用者が安心して利用できるような対策を実施した。	引き続き利用者が安全・安心で快適に施設を利用できるように、感染防止に対応した施設運営を行う。
②	引き続き定期的な保守点検や修繕により、適切な維持管理を図るとともに、予防保全の観点から計画的な修繕を検討する。	将来的に故障が見込まれる設備について、予防保全の観点から原因となり得る箇所の改修を行った。	引き続き定期的な保守点検や修繕を行い、適切な維持管理を図り、施設の長寿命化のために、計画的な修繕を検討する。
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
	図書館、文学館、子どものための施設が融合した、これまでにない新しいコンセプトの施設である。
議会(要旨)状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度 6月会議 成果と今後の方向性について 平成28年度 決特 ゆいの森あらかわの周知について 平成29年度 決特 サインの見直しについて 平成29年度 決特 カフェの運営について 平成29年度 予特 適切な施設管理について

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	05-04-02	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	事業運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	山下			
		担当者名	市川	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-03-01	事業運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 4年度 <input type="checkbox"/> 3年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 28（2016）年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例					
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	生涯学習や地域コミュニティの拠点となるよう、「ゆいの森あらかわ」の中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろばの3つの機能が有機的に融合した事業のほか、他部署や他機関と連携した事業及びボランティア活動の支援を展開する。							
対象者等	区民及び施設利用者							
内容	<p>【施設機能等連携イベント】 図書館、文学館、子ども施設の各機能が連携した講演会やイベント等を開催。</p> <p>【地域活動支援】 地域コミュニティの拠点として、他部署や他機関との連携を図りながら、地域住民の活動やボランティア活動を支援する。</p> <p>【他機関協働事業】 他部署や他機関と連携し、区民の方が施設に足を運ぶきっかけとなる幅広い分野にわたる魅力ある事業を展開する。</p>							
経過	<p>平成22年 3月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会報告書</p> <p>平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定</p> <p>平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定</p> <p>平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 12月 学びラウンジボランティア開始</p> <p>平成29年 3月26日 開館 4月～5月 開館記念イベント開催 8月 区内事業者と連携した企画展及びアニメ上映会開催</p> <p>平成30年 1月 新春舞踊ショー・昭和写真展開催（～3月） 3月 開館1周年記念イベント（逢坂剛氏講演会等）</p> <p>平成31年 7月 切断ヴィーナス写真展と講演会</p> <p>令和 3年 8月20日～9月15日 夏季企画展「見る、知る、広げる 東京2020パラリンピック特別展」開催</p>							
必要性	地域活動への参加や多様な体験や学習のきっかけとして事業を展開する必要がある。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤職員 <input checked="" type="checkbox"/> 会計年度任用職員）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			元年度	2年度	3年度	4年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	事業開催数（回）	513	321	350	380	500	ゆいの森で実施した事業数
	②	ボランティア活動者数	111	98	140	145	145	ゆいの森課のボランティア全体（図書館ボランティア含む）
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
4年度		5年度						
重点的に推進		重点的に推進		地域コミュニティ及び文化推進の新たな拠点として、三つの機能の融合施設であることを生かした、様々な事業を実施するとともに、新たな文化活動を積極的に企画・発信していく。				

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		-	10,036	8,505	6,808	6,856	5,169	2,212
決算額(4年度は見込み)		-	4,395	5,336	4,510	1,422	1,323	2,212
実績の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事業開催数(回)		2	332	493	513	322	171	288
ボランティア活動者数		20	87	91	111	98	140	145
予算・決算の内訳		令和2年度(決算)		令和3年度(決算)		令和4年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	イベント講師謝礼	340	報償費	イベント講師謝礼	468	報償費	イベント講師謝礼	610
需用費	消耗品費・印刷費	394	需用費	消耗品費	284	需用費	消耗品費・印刷費	492
役務費	展示運搬・展示保険料	2	役務費	展示運搬・展示保険料	35	役務費	展示運搬・展示保険料	8
委託料	企画展示制作等	686	委託料	企画展示制作等	536	委託料	企画展示制作等	1,100
使用料	放映権	0	使用料	放映権	0	使用料	放映権	0

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額		2年度	3年度	差額	
行政費用	給与関係費	1,749	4,033	2,284	地方税等	0	0	0
	物件費	1,080	853	▲227	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	74	74
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	342	470	128	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	161	455	294
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	161	529	368
	賞与・退職給与引当金繰入額	401	221	▲180	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲3,411	▲5,048	▲1,637
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	3,572	5,577	2,005	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲3,411	▲5,048	▲1,637
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲3,411	▲5,048	▲1,637	

備考 行政費用では、主に給与関係費が多くを占めている。また、感染症の影響によるイベントの実施方法の見直しに伴い、物件費が減少している。行政収入では、パラリンピック企画展実施による都支出金(スポーツ振興等事業費補助金)やグッズ売り上げが増えたことにより、収入が増加している。

問題点・課題
 ・新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、イベントの内容を精査するとともに、オンラインを活用した事業を展開することにより、より施設の認知度を高めていく。
 ・ボランティア登録者が気軽に参加できる環境を整えるとともに、継続して活動できるよう支援していく必要がある。子育て世代や仕事をしている人が参加しやすい仕組みに見直すことで、活動できる場を広げていく。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	感染症予防に取り組むにつれ、イベントを開催するとともに、オンラインや動画配信による事業も実施していく。	感染症対策を徹底した上で、イベントを実施したほか、一部のイベントについてはオンラインや動画配信を実施した。	引き続き、感染症対策を行いながら、オンラインの活用や事業実施回数を増やすなどの取り組みを実施する。
②	継続した活動を支援するとともに、親子で気軽にボランティアに参加できる仕組みを検討していく。	親子講座を年4回実施することで、ボランティア活動参加者の裾野を広げることができた。	親子講座の実施を通じて、ボランティア活動参加者の裾野を広げるとともに、継続して活動できる場を提供していく。
③			

他区の実況	(実施 0 区)	未実施 22 区	不明 0 区)

議会(要旨)状況	平成28年度 予特	平成28年度 予特	平成28年度 決特	平成29年度 決特	平成29年度 予特
	ボランティアについて	オープニングイベント等について	ボランティアの活用について	事業者と連携したイベントの実施について	魅力あるイベントについて

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	05-04-03	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	子どもひろば運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	山下			
		担当者名	川上・飯野	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-05-01	子どもひろば運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 4年度 <input type="checkbox"/> 3年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 29（2017）年度	根拠	一時預かり実施要綱					
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内	<input type="checkbox"/> 都基準内	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準	計画区分	<input type="checkbox"/> 計画	<input checked="" type="checkbox"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	子どもたちが多様な体験や学びによって、将来の夢を育む支援を行う。また、乳幼児とその保護者や小中学生の安全な居場所を提供する。							
対象者等	主に中学生以下の生徒、児童、乳幼児とその保護者							
内容	<p>【乳幼児（主に遊びラウンジ）】 絵本館との融合を図りながら、雨の日でも遊べる成長に合わせた室内遊具を設置。保育士の見守りにより、簡単な育児相談も実施。</p> <p>【児童、生徒（主に学びラウンジ）】 体験キットや理科実験等のワークショップを実施する他、放課後の安全な居場所を提供。</p> <p>【一時預かり】 令和2年度より運営を委託から直営に変更し、区内在住の未就学児、ゆいの森利用者を対象として実施。主な運営方法の変更は、①クール制から時間制（最大3時間まで）、②定員5名から4名、③月の利用限度は一人当たり7クールから21時間、④費用1クール1,000円から1時間当たり500円（兄弟の場合、二人目以降500円から250円）</p>							
経過	<p>平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置</p> <p>平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定</p> <p>平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定</p> <p>体験キット、体験ワゴン、星空学習ソフト、デジタル地球儀など小中学生を対象とした体験事業を開発</p> <p>平成29年 3月26日 開館</p> <p>令和2年度 乳幼児一時預かり直営化に伴い、会計年度任用職員を増員</p>							
必要性	子どもたちの安全な居場所や自主的な学びの場を提供するとともに、子育て世代のコミュニティの場として活用されており、必要性は高い。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤職員 <input checked="" type="checkbox"/> 会計年度任用職員）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			元年度	2年度	3年度	4年度見込み		目標値(8年度)
	①	遊びラウンジ利用者数（子どものみ）	28,619	8,908	15,283	17,843	39,000	
	②	体験キット貸出件数	11,178	2,440	4,417	10,000	27,000	
③	ワークショップ等参加者数	4,731	253	2,167	4,000	5,100	ワークショップ、校外学習の参加者	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
4年度		5年度						
重点的に推進	重点的に推進	就学前の親子や小中学生の安全な居場所として遊び・学びラウンジの充実を図っていくとともに、未来を担う子どもたちに様々な体験を提供し、将来へ夢を育む場となるよう、積極的に事業を進めていく。						

予算・決算額等の推移	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
予算額	-	26,634	21,427	23,160	11,560	13,562	12,917	
決算額（4年度は見込み）	-	21,316	19,226	20,908	8,044	10,525	12,917	
実績の推移	事項名（4年度は見込み）	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	一時預り者数（延べ人数）		2,557	3,019	2,998	1,343	2,199	2,619
	体験キット等保有数（種類）		17	21	26	31	35	40
	校外学習等参加者数（延べ人数）		1,451	1,486	1,442	0	1,517	1,412

予算・決算の内訳								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報酬	臨時職員賃金	5,201	報酬	臨時職員賃金	6,285	報酬	臨時職員賃金	6,991
職員手当	臨時職員期末手当	685	職員手当	臨時職員期末手当	924	職員手当	臨時職員期末手当	1,278
報償費	講師謝礼	10	旅費	臨時職員通勤費	155	報償費	講師謝礼	221
旅費	臨時職員通勤費	140	需用費	消耗品費等	1,716	旅費	臨時職員通勤費	244
需用費	消耗品費等	1,626	役務費	体験型展示通信料	103	需用費	消耗品費等	2,057
役務費	体験型展示通信料	102	委託料	ワークショップ委託等	1,180	役務費	体験型展示通信料	103
委託料	ワークショップ委託等	280	備品購入費・償還金	備品購入、補助金返還金	162	委託料	ワークショップ委託等	2,023

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
	給与関係費	14,886	20,383	5,497	地方税等	0	0	0	
	物件費	2,148	3,297	1,149	国庫支出金	2,982	2,637	▲ 345	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	2,482	2,637	155	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	10	19	9	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	620	1,048	428	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	6,084	6,322	238	
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,173	730	▲ 1,443	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 13,133	▲ 18,107	▲ 4,974	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	19,217	24,429	5,212	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 13,133	▲ 18,107	▲ 4,974	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 13,133	▲ 18,107	▲ 4,974	

備考 行政費用では、主に給与関係費が多くを占めている。また、新型コロナウイルスの規制が緩和されたことにより、行政費用では、ワークショップ実施に伴う物件費（委託料）が増加し、行政収入では、乳幼児一時預かり利用料（その他）が増加している。

問題点・課題
 ・学びラウンジについて、時代のニーズを踏まえた体験キットの製作や、WEB動画を活用したワークショップの実施等を行う必要がある。
 ・遊びラウンジについて、子育てや子どもの成長を支援するため、イベントの充実を図る必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	体験キットの体系化を図るとともに、体系化を踏まえた体験キットの製作とワークショップの実施を行う。	体験キットの体系化により、同一テーマのキットを階層的に構築することが可能になり、成果をワークショップに反映することができた。	SDGsや脱炭素社会といった時代のニーズを踏まえた体験キットの製作や、触れる地球を活用したワークショップを実施していく。
②	遊びラウンジ、一時預かり利用者のアンケート調査を行い、運営内容の充実や、より具体的な利用方法の周知を図る。	感染症対策を講じた上で、遊びラウンジでは、安全に利用できる環境を整備するとともに、イベントは内容の充実を図り開催した。	親子の安全な居場所としての利用環境の整備や、子ども達の成長に合わせたイベント等を実施するなど内容の充実を図る。
③			

他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）	
		遊びラウンジは、国の事業である「地域子育て支援拠点事業」に基づき実施している。

議会（要旨）	状況	
	平成29年度 決特	乳幼児一時預かりについて
平成30年度 予特	乳幼児一時預かりについて	
令和元年度 決特	乳幼児一時預かりについて	

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	05-04-04	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事	
事務事業名	中央図書館運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	山下		
		担当者名	佐藤	内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-04-01	中央図書館運営費					
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 4年度 <input type="checkbox"/> 3年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 28（2016）年度	根拠	図書館法、荒川区立ゆいの森あらかわ条例、				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無（ ）年度	法令等	荒川区立図書館条例、荒川区立図書館館則				
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準	計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	図書資料や図書館オンラインシステムを充実させ、関係機関と協力して読書活動に親しむ多様な事業展開を行うことによって、子どもたちの読書環境の向上や区民の読書活動を推進し、利用者全体の課題解決や生涯学習を支援する。						
対象者等	図書館利用者、その他図書館等関係機関						
内容	<p>○多様化するニーズに応え、課題解決を支援できるよう、より専門的な資料から一般的な資料まで購入し誰でも利用しやすい環境を整え提供する。</p> <p>○30万冊規模の開架の書架等を活用した、特集コーナー等の設置やイベントでの関連図書資料の展示など、図書資料の積極的な提供を行う。</p> <p>○大規模な蔵書を効率的かつ効果的に管理し、良質なサービスを提供する。</p> <p>○絵本館、現代俳句センターなど、特徴となる資料の収集・提供を行う。特に、俳句資料については、現代俳句協会との協定に基づき、関係部署と連携しながら事業を進める。</p> <p>○「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、地域図書館、学校図書館、街なか図書館が連携し、本が身近にあるまちづくりを進める。</p> <p>【蔵書規模】 開架30万冊、閉架30万冊</p> <p>【資料】 書籍 AV 雑誌 新聞紙</p>						
経過	<p>昭和37年 3月 荒川図書館開館</p> <p>平成5年10月 図書館オンラインシステム稼働、平成10年 5月 南千住図書館開館</p> <p>平成18年 4月 「これからの図書館調査懇談会報告書」、「荒川区子ども読書活動推進計画」策定</p> <p>平成19年 3月 図書資料収集基準として、荒川区立図書館資料収集要綱を制定</p> <p>平成20年 7月 第1回柳田邦男絵本大賞を創設、「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集開始</p> <p>平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」策定</p> <p>平成28年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第三次）」策定、12月 荒川図書館閉館</p> <p>平成29年 2月 新図書館オンラインシステムへ変更、3月 中央図書館開館</p> <p>平成30年 5月 「読書を愛するまち・あらかわ」宣言</p> <p>令和3年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第四次）」策定</p> <p>令和4年 2月 図書館オンラインシステム更改、3月 稼働</p>						
必要性	多様化するニーズと課題に対応し、区民の読書活動及び生涯学習等、生涯に渡り学ぶことによって、自ら課題を解決することができる環境づくりに必要な事業である。						
実施方法	<p>（<input type="checkbox"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員）</p> <p>配本車運行業務、図書館オンラインシステム機器保守委託、図書資料装備委託等</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		元年度	2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)	
	① 区民1人当たりの蔵書冊数(点)	4.32	4.37	4.42	4.43	4.81	(全館) 蔵書点数÷住基人口
	② 区民1人当たり個人総貸出点数(点)	9.19	7.47	10.17	10.26	10.00	(全館) 貸出点数÷住基人口
③ 個人登録者数(人)	78,506	74,388	84,714	103,331	130,000	(全館) 4月1日現在	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
4年度	5年度						
重点的に推進	重点的に推進	「読書を愛するまち・あらかわ」の実現に向け、図書館サービスについて周知し、活用してもらう必要があるため、重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		-	136,150	135,861	143,584	149,673	215,540	147,028
決算額（4年度は見込み）		-	123,564	130,022	132,219	138,218	202,069	147,028
実績の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事項名（4年度は見込み）								
入館者数（人）※中央館のみ		15,991	690,094	707,295	697,418	355,860	510,961	513,925
個人総貸出点数（点）※		15,115	764,205	764,510	727,666	608,091	738,031	742,411
特集コーナー設置数（回）※		7	73	166	210	184	220	218
おはなし会開催回数（回）※		0	69	71	65	32	41	64

予算・決算の内訳								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報酬	会計年度任用職員（日額）報酬等	13,577	報酬等	会計年度任用職員（日額）報酬・旅費等	17,959	報酬等	会計年度任用職員（日額）報酬・旅費等	17,857
報償費	各種講座講師謝礼	1,078	報償費	各種講座講師謝礼	2,148	報償費	各種講座講師謝礼	1,982
需用費	図書資料購入費等	47,781	需用費	図書資料購入費等	50,158	需用費	図書資料購入費等	47,768
役務費	配本車運行料等	13,987	役務費	配本車運行料等	14,592	役務費	配本車運行料等	15,174
委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	33,090	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	101,781	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	34,402
使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	27,948	使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	28,623	使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	29,513
その他	備品購入費・負担金	757	その他	備品購入費・負担金	402	その他	備品購入費・負担金	507

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
行政費用	給与関係費	90,088	94,219	4,131	地方税等	0	0	0	
	物件費	123,361	184,736	61,375	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	1,280	1,487	207	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	220	3,447	3,227	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	220	3,447	3,227	
	賞与・退職給与引当金繰入額	17,742	4,307	▲ 13,435	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 232,251	▲ 281,302	▲ 49,051	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	232,471	284,749	52,278	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 232,251	▲ 281,302	▲ 49,051	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 232,251	▲ 281,302	▲ 49,051		

備考 行政費用（物件費）については、図書館オンラインシステムの更改に伴い、導入費用等の委託料が増加した。行政収入（その他）の増加は、指定寄附金及びコピーサービスの利用料である。

問題点・課題
 ・地域が一体となった読書のまちづくりを推進するため、「読書を楽しむまち・あらかわ」宣言を広く区民等に周知し、区民等の読書活動に係る気運醸成を具体的に図っていく必要がある。
 ・誰もが読書に親しめる環境を整えるため、障がい者向け図書等の展示会の実施や読書活動のサポートの充実を図る必要がある。
 ・子ども読書活動推進計画に基づき、中学生・高校生が荒川区ゆかりの文学作品を選びやすくするおすすめ本リストの作成や参加型イベントの開催といった計画事業を着実かつ迅速に進めていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	宣言の周知等について全庁的な取組を進めるとともに、区民とともに周知・啓発活動を行う組織を結成するなど様々な周知を図る。	宣言の封筒への印字やチラシの作成等全庁で啓発活動を実施し、図書館では周知啓発活動団体の結成準備に着手した。	宣言の周知等について、全庁的な取組を進めるとともに区民等の参加による組織を結成し、イベント実施等による宣言周知を図る。
②	関連部署と密接に連携して「家読」の活動を推進していくとともに、障がい者用資料の更なる充実や展示会等の取組を進めていく。	ブックリストの夏冬の発行、パネル展の実施等「家読」活動の推進、LLブックや展示コーナーの整備等障がい者資料の充実を図った。	障がい者向けサービスの認知と利用の向上を図るため、代読サービスの提供や障がい者向け図書資料の展示会を実施する。
③	利便性の一層の向上を図るため、資料検索やHP等の機能が拡充した新図書館システムを導入する。	資料検索、HP等の機能が拡充した新図書館システムを導入し、令和3年度から稼働した。	荒川区ゆかりの文学作品の中高生向けのおすすめ本リストの作成やPOP作成コンテストの実施による読書活動の推進を図る。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	中央図書館については全区が設置し、子ども読書推進計画の策定、図書館オンラインシステムの導入がなされている。

議会要旨	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 決特 図書の弁償・図書資料費・障がい者支援・図書館機能の周知について 令和元年度 予特 絵本大賞・読書を楽しむまち・あらかわの推進について 令和2年度 決特 図書館での障がい者サービスについて 令和2年度 予特 読書を楽しむまちあらかわのPRIについて 電子図書の導入について
------	---

事務事業分析シート（令和4年度）

No1

事務事業コード	05-04-05	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	吉村昭記念文学館推進事業運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	山下			
		担当者名	増田	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（4年度）	01-06-01	吉村昭記念文学館運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 4年度 <input type="checkbox"/> 3年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 18（2006）年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例					
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	郷土を代表する作家・吉村昭氏及び吉村氏に関連のある作家に関する資料の収集、研究等を行うとともに、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興に寄与する。							
対象者等	区民等							
内容	<p>○吉村氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究</p> <p>○企画展示の計画、展示物の製作などの展示活動</p> <p>○講演会や吉村氏・津村氏とゆかりのある地との連携等を通じた、吉村氏と同氏の作品の普及啓発</p> <p>○文学館が地域文化の醸成に貢献できるよう友の会の運営</p> <p>○ホームページ等での広報</p> <p>文学館エリア：約540㎡（ゆいの森あらかわ2階・3階の一部、復元書斎を含む） 入館料：無料</p>							
経過	<p>平成 4年度 吉村昭氏区民栄誉賞受賞（5月）、日暮里図書館吉村昭コーナー設置</p> <p>平成18年度 吉村昭氏逝去（7月31日）</p> <p>平成26年度 吉村昭記念文学館友の会設立（3月）</p> <p>平成28年度 吉村昭記念文学館開館（平成29年3月26日）・開館記念企画展（平成29年7月まで）</p> <p>平成29年度 日本文藝家協会共催事業（7月）、第2回企画展、おしどり文学館協定締結式（11月5日）、落語会（学習院大学落語研究会）</p> <p>平成30年度 瀬尾まなほ氏講演会、企画展、おしどり1周年講演会（山口昭男氏）、朗読会（竹下景子氏）</p> <p>令和元年度 企画展、朗読会（橋爪功氏）、おしどり2周年講演会（出久根達郎氏）</p> <p>令和 2年度 ウェブ企画展、友の会限定イベント実施</p> <p>令和 3年度 企画展、朗読トーク映像配信（赤江珠緒氏）、おしどり記念朗読会（津田寛治氏）、講演会（吉村司氏）、友の会限定イベント実施</p>							
必要性	吉村氏の功績を後世に伝えるとともに、吉村作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区民に向けて提供することで、区における文化の醸成や区のPRにも寄与することから、必要性は非常に高い。							
実施方法	<p>（<input type="checkbox"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員）</p> <p>文学館の運営に当たっては、学芸員の資格を有する専門の会計年度任用職員を採用して実施するとともに、専門家の御意見も伺いながら進める。展示製作業務、デジタル写真撮影業務等を委託</p>							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			元年度	2年度	3年度	4年度見込み		目標値(8年度)
	①	文学館来館者数（人）	53,584	32,007	39,244	43,200	70,000	平成30年8月1日より集計開始
	②	事業の参加人数（人）	663	644	479	516	800	イベントや講演会等の参加者人数
③	文学館友の会会員数（人）	397	407	470	530	650	吉村氏の功績や作品を広く周知するための指標	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
4年度	5年度							
重点的に推進	重点的に推進	企画展の開催や友の会の運営を通して吉村文学を生んだ荒川区の魅力を区内外に広く発信するとともに、地域文化の醸成を図る事業であるため、重点的に推進する。						

予算・決算額等の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算額		-	24,263	23,438	22,971	21,141	18,422	18,083
決算額(4年度は見込み)		-	15,780	16,087	18,531	16,397	16,903	18,083
実績の推移		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事項名(4年度は見込み)								
文学館来館者数(人)		-	-	39,638	53,584	32,007	39,244	43,200
事業の参加者人数(人)		506	683	678	663	644	479	516
文学館友の会会員数(人)		735	404	359	397	407	470	530

予算・決算の内訳								
令和2年度(決算)			令和3年度(決算)			令和4年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	企画展等謝礼	540	報償費	企画展等謝礼	1,209	報償費	企画展等謝礼	1,480
需用費	資料購入、印刷製本	1,863	需用費	資料購入、印刷製本	1,666	需用費	資料購入、印刷製本	1,781
役務費	展示資料等運搬費	2,804	役務費	展示資料等運搬費	2,953	役務費	展示資料等運搬費	5,237
委託料	企画展ウェブ制作等	9,878	委託料	企画展ウェブ制作等	10,100	委託料	企画展展示制作物等	8,123
使用料	著作権使用料	376	使用料	著作権使用料	581	使用料	著作権使用料	635
備品購入費	直筆原稿等購入費	670	備品購入費	文学館備品購入等	97	備品購入費	直筆原稿等購入費	519
報酬等	会計年度職員報酬、負担金等	266	報酬等	会計年度職員報酬、負担金等	297	報酬等	会計年度職員報酬、負担金等	308

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
行政費用	給与関係費	17,734	22,448	4,714	地方税等	0	0	0	
	物件費	15,521	15,318	▲203	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	630	1,340	710	使用料及び手数料	2	0	▲2	
	減価償却費	0	0	0	その他	1,085	693	▲392	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,087	693	▲394	
	賞与・退職給与引当金繰入額	4,013	1,215	▲2,798	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲36,811	▲39,628	▲2,817	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	37,898	40,321	2,423	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲36,811	▲39,628	▲2,817	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲36,811	▲39,628	▲2,817		

備考

行政費用については、給与関係費及び企画展等実施に伴う補助費等(報償費)が増加した。行政収入(その他)については、吉村昭記念文学館友の会会費の収入が減少した。

問題点・課題

・ゆいの森内、他部課との連携を強化するとともに、福井県ふるさと文学館、三鷹市をはじめ、他館や他自治体との連携の幅を広げ、事業を展開することで、来館者の増加を図る必要がある。
 ・要望の多いイベントの実施や、友の会会員に向けた「参加型イベント」の実施等、会員満足度を高めるとともに、吉村文学の読者層を増やし、文学館への来館や新規入会者数の増につなげる必要がある。
 ・事業企画における魅力的なテーマ設定等により、既存の展示方法やPR方法を見直し、若者等新たな客層を呼び込むとともに、吉村作品の貸出の増につなげる必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和3年度に取り組む具体的な改善内容	令和3年度に実施した改善内容および評価	令和4年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	他の作家を取り入れた展示、企画展の関連地での資料借用・聞き取りなど、他館や他自治体との連携を強化する。	他の作家(太宰治)を取り入れた展示により新たな集客を図った。また、資料借用をきっかけに生まれた新たな縁により連携展示を行った。	文学的観点からのアプローチにとどまらず、企画展のテーマで連携するなど、幅広く他館・他自治体との連携を進めていく。
②	参加型イベント等の充実により、更なる魅力向上に努めるとともに、友の会事業の発信等各種媒体でのPRを強化する。	友の会会員向けイベント「彰義隊」舞台地ツアーの実施、会費納付の利便性向上の取組等により、会員数の増につながった。	友の会のPR活動の強化や周知方法を工夫する。また、会員から要望の多いイベントや参加型イベント等の充実を図る。
③	入門者向けの展示、ウェブやSNSの活用、動画配信、著名人によるイベント等により、若者等新たな客層の獲得を図る。	旅・食などを切り口に入門者向けの展示を行った。また、赤江珠緒氏・津田寛治氏等著名人によるイベントで新規ファン獲得を図った。	クラウド型収蔵品管理システムの導入・活用により、収蔵資料のウェブ公開、音声配信等、新たな発信方法を検討する。

他区の実況	(実施 9 区 未実施 13 区 不明 0 区)
文学館設置区	港区、新宿区、文京区、台東区、大田区、世田谷区、渋谷区、北区、練馬区

議会(要旨)状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年 三定 記念館の設置要望について 平成23年 四定 文学館開館に向けた事前周知について 平成26年度 予特 友の会の設立について 平成27年度 予特 文学館の開館後のイベントについて 平成29年度 決特 文学館の周知、友の会、上映会について
----------	---